

2012年度 第7回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」 日本奨励賞4名、特別賞の受賞者と、「リケジョ7つの誓い」を発表！ 新設された「ロレアル エトワール賞」に安藤美姫さん

<報道資料>

2012年7月4日

世界最大の化粧品会社ロレアルグループ（本社：パリ）の日本法人である日本ロレアル株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：クラウス・ファスベンダー）は、本日7月4日、六本木ヒルズクラブにて、**2012年度 第7回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」**の受賞者の発表と授賞式を行いました。

- ① **「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」**は、日本の若手女性科学者が、国内の教育・研究機関で研究活動を継続できるよう奨励することを目的として、2005年11月、日本ロレアルが日本ユネスコ国内委員会との協力のもと創設しました。対象者は、物質科学、生命科学の分野で、博士課程（後期課程）に在籍または、博士後期課程に進学する予定の女性科学者で、物質科学から2名、生命科学から2名決定し、それぞれ賞状と奨学金100万円が贈られます。候補者の募集は、2011年11月21日から2012年2月29日まで、全国の大学や研究機関に対して推薦を募り、選考委員会により、研究内容、専門知識、着想力など日本の未来を担う女性科学者としての可能性を総合的に評価しました。
- ② 本年の**「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞—特別賞」**は、昨年11月、生徒たちによる新たな科学現象「BZ反応」の発見に関する論文が、権威ある米科学専門誌『The Journal of Physical Chemistry A』誌に掲載されるという快挙を成し遂げた茨城県立水戸第二高等学校が受賞しました。同校は、2006年度および2011年度からそれぞれ5年間、文部科学省によるスーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校であり、「科学大好き人間の育成」、「国際的に活躍できる女性科学・技術者の育成の基盤づくり」、「小・中学校等に対する科学への夢を育むための教育支援の研究と開発」を目標に掲げています。学校全体で女性科学者の育成に取り組む姿勢と、研究を続ける生徒たちの情熱が評価されました。
- ③ **「リケジョ7つの誓い」を通じた啓発活動**：女性科学者や次世代のリケジョたちが、女性として今後の長い研究人生を歩むうえでの、“理想の姿”を表した**「リケジョ7つの誓い」**を新たに制定しました。日本ロレアルは、「リケジョ7つの誓い」を今後の啓発活動を通じて訴求し、より多くの若い女性科学者を後押しするとともに、科学の楽しさやキャリアとしての無限の可能性を伝え、主要な社会貢献活動として積極的に推し進めていきます。

日本奨励賞の受賞者は下記のとおりです。

■「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」物質科学分野

工藤 まゆみ(28歳) お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 理学専攻 化学・生物化学領域 棚谷研究室
客野 遥(きやくの・はるか) (28歳) 首都大学東京大学院 理工学研究科 物理学専攻 ナノ物性I研究室

■「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」生命科学分野

高田 朱弥(たかた・あけみ) (32歳) 東京大学大学院 医学系研究科 消化器内科学

中泉 敦子(なかいずみ・あつこ) (35歳) 北大阪警察病院 眼科 (大阪医科大学大学院医学研究科 卒業)

■「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞—特別賞」

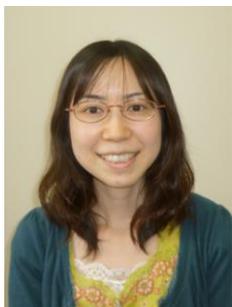
茨城県立水戸第二高等学校

7周年を記念して「ロレアル エトワール賞」を新設：安藤美姫さんを表彰

栄えある最初の**「ロレアル エトワール賞」**受賞者に、昨年の世界フィギュアスケート選手権大会の金メダリスト、安藤美姫さんが決定しました。本賞は、あらゆる分野を対象に、目標に向かってチャレンジし、次世代のロールモデルとなる個人/団体を表彰するものです。フィギュアスケートの分野において、長年努力を重ね、国際的な活躍を続けることで、フィギュアスケーターを目指す子どもたちのロールモデルであるとともに、同分野を広く訴求するうえで、大きな役割を果たしています。これらの功績を称え、今回の受賞となりました。

2012年度 第7回「ロレアル-ユネスコ 女性科学者 日本奨励賞」受賞者

【物質科学分野】



氏名：^{くどう} 工藤 まゆみ (28歳)
所属大学：お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 理学専攻
化学・生物化学領域 棚谷研究室
研究分野：構造有機化学
研究内容：「人工分子によるらせん構造の構築と化学的性質の解明」
社会的意義：DNA やタンパク質にみられるらせん構造を模倣した人工のらせん分子の創製に貢献
受賞の感想：「数少ない受賞者に選ばれて、大変嬉しく光栄に感じています。この受賞を、今後、女性科学者として研究に励む足がかりとしていきたいと考えています。」



氏名：^{みやの はるか} 客野 遥 (28歳)
所属大学：首都大学東京大学院 理工学研究科 物理学専攻 ナノ物性 I 研究室
研究分野：物性物理学
研究内容：「水のナノサイエンス—微細な空間に閉じ込められた水の構造と性質の研究」
社会的意義：生体内における水の役割の理解や、海水を真水にする新しい薄膜などの開発に貢献
受賞の感想：「この受賞は到底私一人の力で成し得たものではなく、指導教官をはじめ共同研究者の先生方、先行する研究で道を切り開いてくださった研究室の先輩方、実験を手伝ってくれた同期や後輩たち、そして応援して支えてくれた家族など、たくさんの方からの協力があつたからこそのものであると強く感じています。」

【生命科学分野】



氏名：^{たかた あけみ} 高田 朱弥 (32歳)
所属大学：東京大学大学院 医学系研究科 消化器内科学
研究分野：消化器疾患の分子生物学
研究内容：「マイクロ RNA の機能に関わる因子に異常が起きると、癌になりやすくなる？」
社会的意義：肝臓癌の発癌原因を解明し、癌予防法の開発や新規治療に道を開くことに貢献
受賞の感想：「このような素晴らしい賞を受賞できたことを光栄に感じており、今後も研究を続けていくことに自信がもてました。この賞を糧に、さらに情熱的に研究に取り組むだけでなく、女性科学者としてロールモデルとなるような人物になりたいと思います。」



氏名：^{なかいずみ あつこ} 中泉 敦子 (35歳)
所属：北大阪警察病院 眼科 (2012年4月より)
大阪医科大学大学院 医学研究科 卒業
研究分野：網膜虚血性疾患
研究内容：「網膜虚血性疾患と網膜毛細血管傷害」
社会的意義：糖尿病網膜症を初めとする網膜虚血性疾患の病態解明に貢献
受賞の感想：「研究は、非常に地味な日々の連続です。思ったような実験データが取れず、心が折れそうになることもありました。それでも、なんとか踏ん張って結果を出せたことを嬉しく思っていました。その上にこのような賞をいただけて非常に光栄です。」

2012年度 第7回「ロレアル-ユネスコ 女性科学者 日本奨励賞—特別賞」

学校全体で世界を目指す女性科学者の育成に取り組み、研究を続ける生徒たちの情熱を評して



所在地： 茨城県水戸市大町 2-2-14
創設： 1900年
担当部門： 茨城県立水戸第二高等学校 数理科学同好会
活動目的： 積極的に世界を目指す女性科学者育成の基盤づくり
活動実績：

- 2004年 数理科学同好会創設:
- 2006年 スーパーサイエンスハイスクール指定(第1期)
- 2007年 第51回日本学生科学賞 全日本科学教育振興委員会賞
- 2008年 日本物理学会第4回 Jr.セッション 最優秀賞
- 2010年 日本物理学会第6回 Jr.セッション 最優秀賞
- 2011年 スーパーサイエンスハイスクール指定(第2期)
同年 BZ 反応の論文米国化学会専門誌に掲載

2012年度「ロレアル エトワール賞」

あらゆる分野を対象に、目標にチャレンジし、次世代のロールモデルとなる個人/団体に贈る

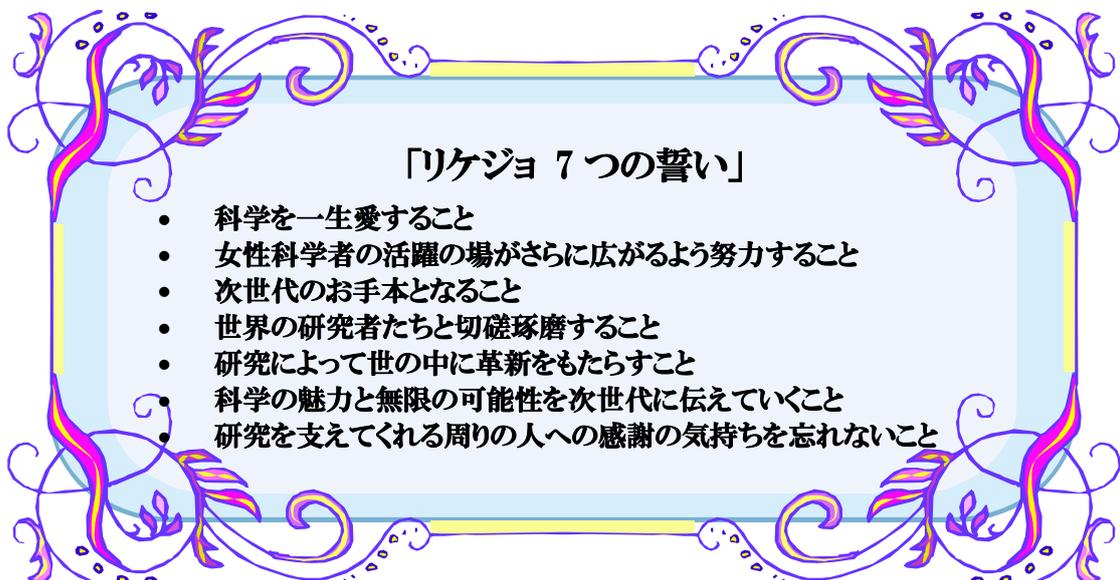


氏名： ^{あんどう みき} 安藤 美姫 (24歳)
出身地： 愛知県 名古屋市
生年月日： 1987年 12月 18日
出身校： 中京高校
所属： トヨタ自動車

主な戦績:

- 2007年 世界フィギュアスケート選手権大会 優勝
- 2008年 四大陸選手権大会 3位
- 2009年 世界フィギュアスケート選手権大会 3位
- 2009年 ISU グランプリ ファイナル 2位
- 2010年 第21回オリンピック冬季競技大会 5位
- 2010年 第79回全日本フィギュアスケート選手権大会 優勝
- 2011年 四大陸選手権大会 優勝
- 2011年 世界フィギュアスケート選手権大会 優勝

「リケジョ(理系女子)7つの誓い」



「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」選考委員会

物質科学	生命科学
小林 昭子 日本大学文理学部化学科教授、東京大学名誉教授（物理化学） 2009年「ロレアル-ユネスコ女性科学賞」受賞	永田 和宏 京都産業大学教授、京都大学名誉教授（細胞生物学）
川合 真紀 東京大学大学院 新領域創成科学研究科教授（表面化学） 理化学研究所理事	御子柴 克彦 理化学研究所 脳科学総合研究センター（神経生物学） 発生神経生物研究チーム シニアチームリーダー
北原 和夫 東京理科大学大学院 科学教育研究科教授（統計力学）	黒木 登志夫 日本学術振興会学術システム研究センター副所長（細胞生物学） 東京大学名誉教授
山本 嘉則 東北大学 原子分子材料科学高等研究機構 特別研究顧問（有機化学） 東北大学名誉教授	中西 友子 東京大学大学院 農学生命科学研究科教授（放射線植物生理学）
	垣生 園子 順天堂大学 医学部 免疫学 客員教授（免疫学）
井上 美香 日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンター所長	

ロレアルグループおよび日本ロレアル

ロレアルグループについて (www.loreal.com)

ロレアルグループは、1909年にパリで化学者によって設立され、世界130カ国・地域で事業を展開し、69,000人の従業員を擁する世界最大の化粧品会社です。「ランコム」「シュウ ウェムラ」「キールズ」「イヴ・サンローラン」「ロレアル パリ」「メイベリン ニューヨーク」など、23の主要ブランドをグローバル規模で展開しています。創立当初から女性研究者を積極的に登用しており、現在約3,300名の研究者のうち55%を女性が占めています。

社会貢献活動においては、2007年10月、より良き企業市民を目指すべく、3本柱である「科学」「教育」「連帯」分野の活動を支援する「ロレアル財団」を創設。「科学」では、1998年より、ユネスコとの協力のもと「ロレアル-ユネスコ女性科学賞」を通じて、約1,300名の女性科学者を世界的に支援しています。

日本ロレアルについて (www.nihon-loreal.co.jp)

1963年から事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2,200人の従業員を擁し、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。現在、上記のブランドを含め18のブランドを取り扱っています。30年以上前から、日本に研究開発拠点を置き、現在、日本ロレアルリサーチ&イノベーションセンター（川崎市・溝の口）として、日本をはじめ、アジアの研究開発の中心的な役割を担っています。210名以上の研究者を有し、うち女性研究者は62%を占めています。また、2012年より、研究所のトップに日本人女性が就任しています。

社会貢献活動においては、2005年に創設され、生命・物質科学分野における若手女性科学者を支援する奨学金「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を推進しています。2012年度を含め、28名の若手女性科学者が受賞しています。また、2010年より、特別賞を設け、科学の発展に貢献した個人または団体を表彰しています。

ユネスコおよび日本ユネスコ国内委員会

ユネスコについて (www.unesco.org)

1945年に設立されたユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は、本部をパリに置き、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じた、国際平和と人類の福祉を促進することを目的とした国際連合の専門機関です。2011年11月23日現在の加盟国数は195カ国あり、また世界53カ所に地域事務所を置いて活動を展開しています。

日本ユネスコ国内委員会について (www.mext.go.jp/unesco/index.htm)

ユネスコ憲章に基づき、加盟国はユネスコ国内委員会を設置しています。日本では「ユネスコ活動に関する法律」に基づき、文部科学省の特別の機関として日本ユネスコ国内委員会が設置されています。日本ユネスコ国内委員会は、教育、科学、文化等の各分野を代表する60名以内の委員で構成され、日本国内におけるユネスコ活動の基本方針の策定、ユネスコ活動に関する助言、企画、連絡及び調査等を行っています。会長は、田村哲夫氏（学校法人渋谷教育学園理事長）です。日本ユネスコ国内委員会事務局は文部科学省に置かれ、文部科学省国際統括官が日本ユネスコ国内委員会事務総長を務めています。

<報道からのお問い合わせ先>

日本ロレアル株式会社 コーポレート・コミュニケーション本部
 船津・塚本 TEL: 03-6911-8104

<応募に関するお問い合わせ先>

「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局
 e-mail: fwis-japanfellowships@jp.loreal.com